(界の)巨星要人

に逮捕さる

# ツ通信社報道

器に大配であるDNB通信社リルソー支局は『モスコにれた元國防人民産战部次長・・チェッスキー元融等人将壓を一指統長

ッ氏、 元柱支大使カラハン氏その世外交際の声駆が遮御されたて各方面の闘心を始めてあるが更に十五日に全り駐日大使ユレ エソスキー元帥等の退機を野後として徐を地大する可能性あり ってを非ば近りも。として威行を重視してゐる 悲劇にもくたい、しかしわが方はこの事性の概念に激悲の忠豪を鵝。を把帳し行ないか蘇図の國情か今後益を複雑化して行くべきことは

半島の經濟政策は

嵐の作

(ウラジオストック模擬地に繋動) - (ベルリン十五日同盟) DNB通 (ベルリン十五日同盟) DNB通 (

|ジオ紙電視災原と繁野院が十四日 | 八名の除殺に弥乱節内に重大動後

【東京支社教】赴山以來初めて原

に入り更上の用俗その他につき大 赴任して から優れ これ一年近

過般の風水害

| したと得ってある | 対しの社会を出してあるかりがエート政府は 軍事公債發行

各種機關を通じ

一が題に來る二十六日には風見思

南田三五年間首相は先づ前例を破

関軍の七、震災の原地から新たと は十五日早くも職協大僧を開闢赤レニングラード鉄道部巻はの狙き

理法では不徹底

金國有を斷行せん

日銀に有力意見

長島司法次官入城

天地玄黄

十二道機の単と他つた際官

たして、毛だ を登里が十能 をして、毛だ して、御養恩 から、なるか、毛を除つ 750 、随島だって /誌雜春靑るぐ捧に神精の康健をしゃ瑞

た。際に鞭毛の毛はみるみ サンマー 

號月

四も持つて來

圖

かつた。古

體の一環として

量前氏 (平壤两綫)5页)十

相川課長新京へ

な気は、

**P**2

か注いたやら めんだらだい

山を見。少女(永郎) 大旅人。ごとく簡単

すと何をするか物らない、早く火で貼けっと云ってるぞ、この相関になってるで、この相関

こさつかと 上庭へ火を強つ て来

ない。まずますらろうろするばかなたらは気が脆弱してあると見る。

勢即

畫作

(79)

月號

プレチンスキー氏、マドリッド大使ローセンベルグ氏等ソヴェート外交界の錚々たる『フ大使"支那大使としてソヴェートの極東政策を牛耳つたカラハン氏"元ベルリン駐剳別」からの情報として十五日報道する所によれば最近東京からベルリンに榮轉したユレ報問内認定係繁煌は異学業態に大量であるDNB通信社リルソー支局は『モスコーの信賴出來

ーン、外務人民委員部廃棄部長ツーケルマン、助日本駐訓大使ユレニニソ、外務人民委員部博報部式長ミロノフ防人民委員部充選のイイン時期では、「中心、財政、イイン時訓大使ローセンベルグ、外務人民委員部西政局長ス 万分、政政、イイン時訓大使ローセンベルグ、外務人民委員部西政局長ス 百カサス電管區副令ルアンドフスキー腎垣、モスコー軍管局副副令ロアカテリ領軍、侵防人民委員部外交部長ペッケル新兵、正く局かソヴェート内療人民委員部に影響されたと解へてゐる、製人の酷謬れた次の通り

蘇聯の國情複雑化(成行重視)

明年度から総合的産業五ケ年計畫を樹立、 た 顕策遂行にも 重大な役割をなす とこなつ 々的生産力の擴充を圖り 國防的見地から見

申合せを選合したので本府ではこの狀態に順應し

大々的に生産力擴充を圖る 

ので、それを伤へ匠

・・・・・ 背 七潮あ美 乙赤悲あ聖英雄 月<sub>風き</sub>し

租光 Ø 子のら接

代子子子

上き接物(糖味)

等(度 話)……物(推薦小説)…… 妻門山廷女り篇 水水瑞布 水丘<sup>丘引</sup> 不是 科 音 砂 音

選ある處女(新長篇) 東京の空食篇 版 二十歳。誕生日(小龍) 横山美智子

### 出自動車場神にて皇宮典 の後野娘に御参述、御参親遊ばさ らせられて九條家別随に入らせら り風流し十六日午助大時一郎先原にて御手水、御修蔵の御儀(御院、御先副斉原墳を御巡拝されて、御修蔵の御儀(の御院、御先副斉原墳を御巡拝され はされた皇太治族下、炎熱薬が曽が連申上げ那所に帰り、 機にて同寺所観の古文池を御州諸京が犯官に別部在へ された、同職的に大日本郷土館代、御巻釈の後の解音派を御歌、即復 護王神祉御参拜 午後は御近親と御物語 内の鐵道を全部 て運轉する

せられ、御先極に御郷櫓、本堂に通天様を御徒歩にて閉山堂に成ら

女全地帶を突破

監集後と口心

ピになる

しい唄く

主題歌

No Die

### 來年度から五ケ年計畫を樹て 國際線の面目に邁進

担三十名の際環際を急減したが生

び大荒郷の各條甲隊は直しに

は恐な疑惑明之来り相が激戦が

時間に至り前記交成地一方面

**鉛り場ハイキング** 

戦不明の開展設直二十名と交通中 名が問題第三時四年頃において記録大平時に駐店の脚は軍部隊〇〇

の情報あり、同縣自急地村小児

は言え、受動士、跋し世にお守するもので見て知。一定したこと何明した、详治日で収定く本面は新版に掲し続け後昇を要求、本依認に早新麗(発・石面七十五編金節を掲却し避近く本面は新版に掲し続け後昇を要求、本依認に早新麗(発・石面七十五編金節を掲却し避

し御服鬼あらせられ一般、除のつづく脚

つてあると、意味暇方面から微波。出し勝ちで眺の場所であつた校別時間場の安全地面で出出さ得」があまりないためつひスピードに ノ七種に順いが、「おい市州北陸梁」この附近は下り坂の上には五日年後九時半ころ足は河東町「足郷に金竹一週川の帰郷で五日午後九時半ころ足は河東町」足郷に金げ一週川の帰郷で **驀進トラツクの罪** 

員動車衝突 ラツクと

國民保建に新紀元を劃す

文房具、骨髓 鳩居堂藏番願

れいの本町三丁月中に

亦札付大賣出

期間 場所

六月二十五日迄六月拾五日ヨリ

つばり

が一番だ

僕等はボートメン

௭

ű 刃 河東田敏子櫻 非 健 二

りも賞臘に報月

光線健康機の出現

イングタクシー金比目(~~)のち 構造しの事故

(職別山) 交

うじが所

**工**种社 育社

**京城家具製造元** 

本町一丁目(元安田銀行跡)

聯合販賣所

関北 の風 気づいり

龍山署管內

無銭収食した上に大暴れ 鐵道局の雇傭員一

ナスの罪?

西大門名ではかねて京城西小門町

阿片窟を襲ふ

東京で、 ・ 1 を ・ 1 を ・ 2 を ・ 3 を ・ 3 を ・ 4 を ・ 5 を ・ 6 を ・ 7 を ・ 7 を ・ 8 を ・ 7 を ・ 8 を ・ **入師** 

若

一部から出火し、あはや大事に至ら一時校長記となりの一年生二組数

四回に亘り放火

三名、要出三名、昭原手」名、昭

質句際を出露値にに

NOTE THE PARTY.

を食べてもおいしくないコンテ時ニハルフ

物價は下向き氣配

先づこの數字を御覽

むことに方針を決定し、従来収良

方線道版良五ヶ年計造に発す

姿なき愛國者や

傷には

ペルメル(ペーキョの地域による十四十十四) 成北加坡著古内の美山資産前三十

天氣豫報 (7世)

超ゆる悲劇に漸ち い愉しさと、夏切、は斯くまでに素晴

きデユヴイヴイ

年の圧座を快定する別と切々の哀愁と切々の哀愁と切りを変ましょう。

マルル・ヴァネル イアンヌ・ イアンス・ イアンス・ イアンス・ イアンス・ イアンス・

霧立のほる 佐 伯 秀 男 

つひに纏らすに決選投票

六議案は全部無難に

可決

蔵長ぶり満點

便衣除の暗躍

### 會道時臨南慶 **収速後度初の熱時** | 記録をつくつて午後三時時間形記 【釜山】暖僧道[線] に四時間でふ道[線始まつて以来の]

て原案通り一

へ 脚手里に可狭して午 一脚手里に可狭して午

を上程し各職家とも顧問を省略し

り學決處分したる事件中小河川收修工事發起債變更▲

の暗聞は断然取締るべきもの

源域四十一名 CTI名線版)の諸位なったが陸原知単以下意興距離に 議设備に副権長選挙に関する思疎 羅維に移り十一時十分依頼この間著名人を決定した後日程の副議長 があつて知事の演述に入り終つて などがあるので各方面の甌心事と 追回副級女の選印 接回議ではあり、 神部新知事の初就 選擇語中の十分間延長を動議した 近郊は十五日午町||各記投票で選挙することになる中 (重要) 南藤城立曾つて開票の結 が十四名の少数で成立せずいとい 脚を述べて証明日程に入り で金屋城氏店選し耐場相子催に焼 上投票となり上頭 (晋州) 脳鍼道 安孝式議成(周山)観音を求めて

▲六聚金班圭▲二聚杉村漁機十七聚金聯網▲十六聚坂田文吉

居直り强盗

豫豫豫豫豫

(咸南

二十日新義州にて二十日第二十日新義州にて二十日大田にて二十日大田にて二十日大田にて

城日報各地支局

慶全息

北北

接を励して金品を強奪 鷄まで盗つて逃走

【海州】 登継耶交共画院出世[[[西] から絹一反(時間二圓)春砂二尺

なぜ影を潜め

の密輸猖獗

に不足するが無作には相ば的よ<del>務</del>

八時頃から再輸を流して降つた前の時頃種の腰であつたが十四日年後 十一時頃止んだが、田前には

安義國境の清掃陣重視し

根本的の防遏對策

良か一断となり料律と移する精製

を自選佐然と開帳し市に出てくる

附近や帯影前の路上で五六名の不【統2】 陸虹市内吉の町水産商郡

**塔世開帳** 日書路上で

金米芸、杉村迎根の四氏を中心と

して暗暢又暗物を重わ体和時間質

が行はれ大勢は坂田文吉、金農祇

金品をふり撒い 権者を買收

有機者を買取した事實を目向する に向つて観いメスを推ふものと見 事件はさらに擴大

統營許基燁氏の選擧違反

ある が登場しないとも限らない情勢で 過股防衛、詐欺、横節の

滿員のバス橫轉 乘客一名は即死し 一名は瀕死の重傷

> 恩室商品研究里心宅五十一番戶八 機能で興南署に検那取割べ中の製

明得に道立仁川が院で手宮を加へ ため盆に死亡した とうそぶいてゐた、なほ被害者金 昭和十年五月九龍里井上西店か、四火製館北伽眞相馬貝ょうは

例の吉州工場の排水試験

のま司所自節敬師李俊米(1)と報動地器習所のもので運転してゐた一致が極力想査した結果京城朝日自 ートルを上げた上数島町遊鹿で遊 深は同日月起島で ウメを外してメ のは同所自称教師李偲朱(『し) 甲を漸増して罪念して來た、李猷明、十四日午後四時職員宅に勸伏

轢逃げ

年を

不埓干萬な

概手金を引致取調べ中額死の重傷を負つた組岡署で

位的れになり飛客一名は即死し、

正中カープでハンドルを切り掛ね|

劉雄("E)が飛客サニ名を飛せて挠|たが十四日午後七時頃出間多量の

郡銀月面大水里で龍岡温泉行き江。とうそぶいてゐた、なほ被蛇掛金【平壁】十三日午後五時半暗龍岡| たつたやらではありました』 など

横領外交員 旅舘に潜伏

の機器は門職削別事時代に質地調

【大邱】桁の膨脹に伴ふ行政協協 田と共に重に質地副在を行ひ締人

男外交配金宝詰(こ)は横線投入と 【平概】形內水法里江西自動車工

して平脚署で各地に指名手配して

を魔収、十一年二月廿九日天機ら繍菇、酉外の物品(約八圓)

も二三般はなれた同里軍協議部に「に水滸伝域間の緊地数で繋掛し京」ことゝなつてゐたが尚世前時刊着「惣室中であつたが十四日安大戲に「賢名=は十四日水滸總三〇二勇冉」の編入を來る九月までに上申する「 町架紙面製造所職工李介蔵(三)= お四、五百回の窃盗部派を働き。 (六十回)を騙取した外十四件 (六十回)を騙取した外十四件 (六十回)を騙取した外十四件 十五日一供書類と共に弦局 【大田】全北南原生れ木浦府大正

原徳祠、大明洞の二ヶ面廿二洞

城郡と抗衝の上十月頃近に上申す 本里洞、松幌洞の九ヶ洞を追加編 间,中里间,梨院间,上里间,竹田间 制・城北面の伏役制・達西面の甘三 を研究の結果、誘城面の領地凡勿後の面の存立狀態その他の情勢等

入するこ.

ととなり七月に入つて達

七、1千圓券(三枚)二一、11 枚)三、二九、一二、一〇、九 枚)三、二九、一二、一〇、九

疑地四ヶ洞の中弼經洞を公山面には発部大昭府編入となり城北面のは発部大昭府編入となり城北面の ることとなった、この結果領域面

一ヶ洞は多斯面に編入されること

筏にも稅金

地方中小河川の流筏流木稅

平北でも愈よ發布

リナレ名物

なる模様である

平壤府公債 償還抽籤

[新義州]

農作に害ありや

七川1十三百年後八時度百川郡

運轉手逮捕

『何かにつきる|石垣技師が來古、南大川下爺で北|するので地元艦民は非常に治日し|ら大丈夫だらうと演得されてふる運転してゐたも|が去る五・六、七、八の四日間道|になったが結果は約二ヶ月後報明|年に比し何ら異談なくこの副十な然に即過酸で避||上げた決意。『日報とれてする。水に適するや、否やを鑑めること||閲定した結果時代は難る解調で中 したり進電でも問題となつてある。なこ着ぎらや、否や必要かること、関節した皮肤等代え渡ら野縄でならいりがあるだらうと一般感覚はも、して本的中央試験量に送り薄値用、数回層大川下流の閉近山番を貨地被導がある から売出する採水のため歴作物に「町の水を各々試験点に探収、配鑑、所な触りをよていしてもらい目を【音舟】低報、北岸奥都清州工場、鉾奥都及び郑郷工堂ひの下に五ケーてあるなに右に願し祝谷局で代非 所の水を各々試験点に採取、 五ケ所から採取、本府に送る

疑疑 常な腕心を以て踏んでゐるが前後

【平護】府では十五日府公院の選

う/人及院金をとられることにな一つた、自然が作つた大河の流れも

順で名話い名物役もと | ずその筋の説可をうけることにな

野底器に投じたが、初度巡視にも

とられるわけだ

**営署に引致され、窓田黙祷主任の** 管原氏も遠に包み切れす十一 で探査の結果確認を握つた

手で取調べる一方所事除は各方面 | られ事性は益々擴大し意外な人物

一對すし選出運送の職院

にもつたが整然品局に更に果方面 | がら登録先から集金二千七百回を |三日夜に至り多額の金銭をもつて | 投稿で伏してゐるのを検明した同 横領消費したものである 本職は詐欺

人は則記江西自動車工場に動めな

選集した歴の女……高盛都茶山面一去。子日樹華尚禄り間もて鯱乳して手殺しの上死體を一かり蟷螂となり窪に世間に蝦蟇し

人邱の府域擴張

編入後の面勢を考慮して

更に九ケ洞を追加

一 上 九、 1 ○ 九、 1 三、 1 ○ 元、 1 三、 1 ○ 元、 1

『高鑑』 空間に堪へきれず犬の第一て干殺しにした上死題を近乗して と通じて因果の能を宿し世間限を一段時の上離粉したが結婚数欲しさ 嬰兒を殺す 来事ではあり世間随を恥ちは乳し 娩したが天はこれが第との間の出

**協関にて機利の際意見されたが無 | 伊(二) = 何れも假名 = 七年財組組** 米洋服の脳目に一個札を五ケ所に | 義柄基と通じ妊娠するやこれを隠 田器既に引き渡された取調べの結。たので名間に堪へきれず火の弟の 現まで職盟守をきめ込み支援、脳一部行制美術行気共美二道、 文のため大田縣で引き除され大

かくしてゐた事情明嚴重取調べ中 不義の人妻 義弟と通じ

業者によって原立急激に副記程が消滅陣の底後の開係に集喰る記律

し世紀年夫か内地に出程ぎに行つ

し事やかであった人制器機を銀頭、機械向者の機像的主義施能は採引 正义復帰運動とともに者々効を奏、方斯義州署人事相談所に並け 製植所給も前時患を潜めたが異々 にモルヒネ、コカイン、刷片等の四五名に上つてゐる

【回運動會は十二日午前九時から【興用】符楽の西湖律市民航安第 西湖津市民運動會

安州に慈丽

【安州】相智順りついいたので践っされてゐる てあるので整然活局の取締を要記

西湖津の上水道

永年の惱み解けて

ちかく着工の運び

に菲爾に重つての開議も入り無行 てれる 徹上水道問題も恵よ異国人との間 七星前 世にKKE電弧に600と現有さらの前。七泉河で歌迎節を確すことになっている。 「東の上げた形となってみた西湖、良外、牛後は大同江の州遊、後に、東り上げた形となってみた西湖、良外、牛後は大同江の州遊、後 (国民間) 多年不便を紹介は一つ、明 | 運に於ける一行は十五日午前中、『異鷹』 多年不便を紹介はつ、明 | 運に於ける一行は十五日午前中、『異鷹』 多年不便を紹介は一次に表する。

が愈々市場に出ました。

現する見込み、完成の順に西別律 描されることとな あどばろん

押しの一手の選素な人で有名 |歌を説印に押したて一にも二にも するてふ水田子町口姓氏は関連版 【咸與】投資額二級面架

大竹內務局長

江原道初巡视

で女子楽部所その他を帰続して訳。はこの後面目動地部誌に何か船部で改革で女子楽部所その他を帰続し、つい、思く認むしないので話説が「飛技・田本道、知事記で小道のを拝帳頭、が疑い話に比べしどうも深心地もや変し、知事記で加りの表情帳頭、が疑いのないと話説が「飛技に調べられ十二日午前十一時一動品を試験が開発話してしまった。 はこの民産目動場が配に何か開係 ◇……旅近その野口さんが乗用自

日を常同途中洪**参**興官、田中地力 |春川||大竹本府内郡局長は第一

暗に國産自動車に不信任表明 があるのですか』と駄目を押して

新光売

出戦金剛山を經て東海岸地力の設 よつて十三日は早くも八時半底部 持らず、極めて超スピート日程に

金千代會員觀光

洪原部内の公習校長南停売氏小丁間島を視察(成門)

行は十五日後南上院、十、日京城の金子代會以百五十名を招待、一【平版】総額金子代醸道元では大

軽神川を除く地方中、小神川の流 つて完成された橋の如く淡色紙を料が一番北では朝鮮語資料の甌 經濟力の越くまえに修ら人工によく と思うさい

門△武田發賣品圖

關東代理店

聖 東 東 市 本 町 東 東 市 本 町

利力油目しから現金国人中間と量 した金銀に跨した金銀器では上田 (銀紙)金天堂は去る人目は川市内 取過へ中部東央等に衛に駆撃地へ突き負すと脅迫し他内を採し題り した金銀に跨した金銀器では上田 (銀紙)金天堂は去る人目は川市内 取過へ中部東央等 同窓では見下殿山たり飛線に居直つて騒げば立防で 入れて風軽金融を扱いて較大路走 (定用) 定州圏の脱走郷人二名中 甲点して東京・同窓では見下殿山たり飛途には 一人と知って飛ぶに 東方から取入れを導んでその中に 定州の脱近犯人 健康中郷神され京中四日定州宮に

全鮮庭球爭覇戰

地方豫選大會日取

6 

作用の妙味を發攬すアルシリン錠は吸著

別に非ずして… 著劑にして、 單は築性上所謂吸 動の抑制或は收 なる馬管螺動運 飲のみを主作用

密物質を、その ・ である脳内の催 ・ である脳内の催 ・ である脳内の催 ・ である脳内の催 ・ である脳内の催 ・ である脳内の催

を保護する特性 **リン分子に吸著** 微細なるアルシ 解毒し且つ腐壁

し得。 て合理的に治療 対域、アルシリ 類は、アルシリ

(主効成分) 「主効成分」 「エルシリン錠は純炭末を純銀 は純炭末を純銀 は純炭末を純銀 は純炭末を純銀 とよりなる無味 とよりなる無味 とよりなる無味

なり。 透底症」





の間もようど現在の小林鑑山

( はじめから難山志望の日

躍活の會商中弘

で新界の撤戯として名質目に堂を 以つて着々とその基礎を固めて今

料を開始にストックし就賞を

株式館が出中西路は鶴山、土 水道、水利用機械状の他附近

学院が近中面部に続い、土 る、那者は一般のであ | 節に巡路と知らかに異質の顕微が近岸に正正正を | き返めの実施があると思ふのであ | 節に巡路と知らかに異質の顕微が

京城漢江通りの本社訪問配

漢江通

一様なぶかして紹介に駆けている。 近中氏の人格があられ出してゐる 近中氏の人格があられ出してゐる

役工技物部十氏は皮質の取り、取り、人で最初部を統べ常務部を統へ常務部を統へ常務部を統へ常務取締約をある。

。鍍山へ乘出す

代だつたので求めて入配するこ かつたのでやらやく一年自に目 となったが森山氏が容易に眠さな 異復道在柴山金山の苦しい鑑賞 式管心の削封、小林淵楽部が常成 附を逃するまでといる話でみた。

を達し小林原右衡門氏の許に入つ

良一氏の野蛮不撓の野蛮力と原法しためぐまれたとは云へ現職長城中にめぐまれたとは云へ現職長城中

I JL

その精神に、その野気に、我

い数学の批母が一条案れざら、や所典まさばかりに肌を継べ

門以上の立題りをやつたもので らハッピを着て店原に立つて

弘中社長の信條は

紛として背水の陣を敷いてゐる

そして宮時不懈型だつた同

月あまりで完了した、夜など一時間の軽響を比及嫌行で整理、三ヶ

雌一人知る憑もない大照氏は幸ひ

も記憶して哲笑を洩してゐるして作事で踏破したことなど今で を前的して二日分の織り版を用意

渡鮮はしたが

大望を抱き。

それが大正二年の八月で

その間例の大正八年の顕徳の萬龍 十年まで加みどろの苦悶を似けた そして自己都里から人を呼び四五

年天の監督、夜は水山の監督で三

學まで三十七里、自動車銭の七圓中後の一圓しの機械であった。京

)程格者株山氏の許へ寄属する。 四邪の前みをもつて當時日際書房 が記を抱いて鼓撃はしたものと

山方面を志覧して

せんとしわけなど様力製無したが

自然。同するところあり四月退職し してをり、翌七年大原氏が静職

小林氏は大腿氏の性行を極度に壁

血血みどろ苦行

# 揺ぎなき堅城成り

# 東滿洲進出を待機

## **社長大原正藏氏血**みぞろの かもからした最大の第カも眠ひら一島の隣に聞いた、皆時の娘物がは一りして、群然は建を決趣、

現在有名な金峰風、江川道 こゝに様光に乗り出したのである 報じてゐた。これく、大阪氏は の好異常で盛んに採がの大好説を一行つた、人よりおい収穫には人よしを楽した、宮時の新聞は八、九年一らつてゐる間にどしく(謝叛して 勢力の現れる仕事へと心境の變化一勢力を以つて異情過逝、人がため れず彼々思ふとほりゆかないので「まだ幼稚だつた、絶別的な正直と 山から轉向。

に如何なる縁般も心配も苦しみも 大郎の前には何緒でもなかつた

ーといふ信候の下

十年の春、大阪の同胞製氏に黄山 株がへ頭出す

の小林洪川金山を小林氏が人手す

した、富年二十七

早くも獨立。

土態者の年上の機関を連れて赴伝 るや選ばれて演奏代理人となり。 儿月

て、宮時中河北直吉氏の角中仲段(く大正十)年一月京城に出て来 その資金をもつて株別に乗り出す 入つたがニケ月を出でずして しみに巡ひ、断然御主、 その間、大正十二年の闘巣の大護 奮然再建決意

人院株式場物店を明治町の現在の一度すため即断へ続いたが一ヶ月節 た、株をやめて観光すべく展落を 災、容先の旗の尻ふき、色々な心

一堂つてある、唐は鏡々略盛、即在 大郎状物店の機関店として現在に大郎がある。 大原證券株式會社

荷太郎氏二男として生れた。 釜山第一步

三十八年の一月であったい。日瑩山に上陸したのは實に、報述二十二歳の氏が半島の 引揚げた、その時代は伊藤西島に たので併勝間匿も閉鎖の係能なき 業を開始した、然名にその原門十 に正り、一切の手様間を起かして 二年に至り京後郷道は完成を掛け

けど受けることである設けで総上

工人年間人経路の第二所を自止風 **吉岡雄伏十年の歳月は流れた、大**  四十一年韓温局所有地の一部貫下 別点域に関することになった。

「記」

お自然に移留されたので、氏も

大概に描き起され

第一関し千個吐き資威を観して強くの )) 苦鬪時代

由川岩道道式

『正真閲覧』、『正寡葛良楽を明始して「『殿御したるも、昭和六年月頃氏の』共に叔び、共に梁しみ、城に惣総、駅北長弘中良一氏は大正五年機械』年にして御毗に歴史斉地に文店を一の恩溥によりて生きてゐるから、 「織に改め、資本金二十萬回の龍山」不歸不即の肺傷にあることは書ふ 開調せる所の「政業は政業後観音」 異にして 此だけに全く自分の事業も同様で

に」と云よ信念の影響により母立一方の緊張なくして自己の緊緊はあ り得ない、己の緊痛は他の緊張の 何と明記してある此等、質に氏の 神でありそれによつて生活が正版 するのでなくてはならない、相手 導落者的食として組織の何分の殴 てゐる、その精神によつて開此の一 反映である、それが共存共衆の精 を出來るだけ價格を 出來るだけ優秀な商 分でも これが同居の辯辞である くなる様にしたい 「ごうか店の仕事が 「弘中商會に照會す 間に對する影 そし

せしめて現代屋の新染器はと同時

に従来の京城本町を資本当二

情楽の撮影を

併せて細胞で握の完備をなせる

協調なる人権の一片版如たるもの

あり、既に其の松業に出りては設

- 先つ機械は単を

のである。なは原土現在資本金 そこから弱いべき犯くを題以す 秀なる機械の製作をなし臨山。 約五、六倍に出産し一 私等 は

**販買の統
動か行はれて
ある** 

社

も心にせず合理的なる組織の許に 計製作関人に至るまで些かなりと

批説者大進められ居り近日之がで水、水利各方面に一大飛腕をなま り機能上型の機能をなし個

して脳膜あらしめる場には何遠さ

日本務所等の諸官僚を始め全解器

内部局各土木川縣所、各項 脫離

王なる納入先は調督所、鉄道局、

では出中氏は常に出現に到し

仕事

ŧ

処罰に採算をはずれぬ現様の取消 の危険を消滅して顕然場動に政治 めた、その後が比喩すりない思黙 自己の思感を扱って大成功をご に引起して明確一番、はじめて 果能競を昨年費買ったのが今回そまた素値の如きも十萬坪にわたる の別近に対原里のは最初が向す 時十二、三回までの問題、現年人 仏想詞に製造所の設備決定で、 を見越して一面四、五十個で買つの土地に昨秋北齢農祭の途次将來 代には上近町及び住宅地として 礼担則、神井置、縁を丘地記され刻町に六千坤にわたる土地のほか 沿海 坪といつた風に、<br />
関に市 九國を唱えてふる有様である。 が脳を楽してある。 就中清神

を作り朝、鮮取引所の取引跳となり 本金五十萬回の大風彩祭な式の計 **灌澤に重きを置いて客先に推奨し** に迎んで来た、和和九年一月、 勝路のはけしい様常に押して順間 \*\*\*・田川常治郞氏を語る \*\*\*

半島重工業のN

驚異!

作

らは土 地に投資 をはじめ 現在顕微数上 廻り様の みなら ず即年か 労労を年の經験に最み施設を伴ふ一た関係もあるが採から土地 活料、素砂、東海安園駅に 向時間に悪まれてふる · 某會批計畫

最近は将來の網洲を見越して更解 氏は絶動的自己の選を信じ、努力 からず質様すべくその脳の再発た 製団戦を散戦機定してあるから遠中村直三郎氏と提廊、二手高風の として内地を主力に 州に近城すべく且下東京を投資地 を信仰として将来一段の雄飛を期 るや抵目すべきものがある。

**大會抓脫鄉** 大原證券株

九六五城京座口替振

京城府西界町三二番地

京

城

鐵

所

五人 番四三番五三

五長 カウゼイケ號略信受

一 洗熨物医に互して大量の取一

土地投資へ進出

のりまわしてみるが、同社の組む

あとからくしヒツト

はひとり朝鮮のみならず県京、大一則をやつてゐる

)) 現在の要職

造もないことである

種製粉機精米麥機各種籾摺機

ノミヤ式石油輕油發動機同ポンプ

朝鮮支那理事、京城間長、日禰智業協會理事

其 米 鍰

山

用

酱

機

傶

油機關及各種發動機類他機械百般設計製作修理機 製 油 機

人間田

ポ重

IJ

ン



京

娍

驛

前

京城鐵工所

營

業

哥

電話本局(ご)九四一番

つて事業は解消に強度し目に拡大 を告け、大正十四年九月には一 た好況の波に

龍山工作工場の

12世代了問題の繁禄法問題、明邦四条殊法問題、明邦 和八年上一月又復五本金四百萬四 直高国に地資を取行した、更に昭 銀工所を合併して資本企四百二十 思に父昭和十年十月株式前出仁川 の俳技であり大様主であるが、世 画品となった。氏は祖出上作館出 部に輝く立志関中の人である。人費い期間の時に外ならぬ、全く生 大策公共の利益とみれば情気も お散と副等、 院一本で叩き上げ ではなかつたくその機関は散進 途を辿つたが、一に氏の弱れ

を合併して影響の大振選を行ひ、

氣機 槭 器具材料

子 製 造 贩 蕒

京城府黃金町二丁目

菁 水 商 店

**會合** 社名

城 支

店

京

電話本局長四 四五 八五 册

本店及工場 佐賀縣 受信略號ケイゼウアヲ 有 ハキデンキ 田 町

藝術往來、生る

木に第一盟を出りするとは出

張るが

ル博士の主張

が川來る、それには重水を飲め、ドのエザンバラ大學化學部長ジエ 人間の領域はもも十ケ年のばす。ばよい、と言ふのがスロットラン ø

島にかける現代しと

象印行旅鮮朝

**竣生を記に出掛けたりした。その** 臭れて開力解と伝ふ観節緒理量に し時、竹も母の協ましきは、網沿ちの私かかつて支那の江南に成せ のは好みもあららが脚鍋地であら

が出こまやかな世界と彼べが殴る

挺ひを生ぜざる部があるであららいさしを見て、謎が正蛇の陽節に

能であつて、京城の数多の仲間上はないだららか。加へて彼なが何

「陳を占めて、それ以来、何

行くと、世

からの語には、桃

聞った『鬱酸性の解表』には然 に行くとなってゐるが、倒って キビ関子を行って良って場

なくなつたので、喉い退む 用事をすましつ」

『隣談社の絵本』をお見へ下さい。一册三十五段。

1

**伽賀機の肺の一例でありますが、比の外各界の名士。** 

# 夜よから朝

ね坊も

0000

ぶくでシャンと むきられます

脚氣の根本的特効薬にして又腎臓病・心臓病・各種疾 患の榮養恢復(殊に結核・傳染病)精力増進・老人・虚 工築養兒等元氣の持續と疲勞恢復等に應用

対土原生物の脚氣浮腫等には禁養をかれ最も特長を有し且つ又胎乳兒の發育・授乳に好影響あり常備薬 夏 元 株式會社鳥居商店 東京市日本福區本町三丁目



### ガの一部から蘇る新構圖 撮影

0 老 1

7

雨でしたら、日をゆつく

れば、限めそれでの領土に図

とかく主題を小さ

他は陸りさへしなければ光線

ますが救ぎことも出来ない相談

下に一数

特許o家庭湯治薬

一と今時のラデオ 大阪政党交 大阪政党交 (里) 近三曲(城) 近三曲(城)

せもたされに妙いの元気!

りあに店藥各

實 桃太郎の繪本て 子供がよくなった話

> 膩 燕

> > ð

その先散の字は、殿門景の周で

物かよかつた。 唐間よりもは

先輩の書

それは、するとかには、明

関係の機関に安く手に入れた高

して紹介融ートラーであって近していって自然が外から配ってからです。そ

れ、それま

操けがに困ってゐましたのが、

もやさしいよい子供になったの 本常に有難い。之とはに調

お出かけに、服の お出かけに、服の ところに途つておく ところに途つておく ところに途つておく に対しません ●からなが、大三MD があいます 要があいます のかあいます

可任服益原中原大 店商物兵長田武 紫鷺 元 變 酸 町 本 申 京 東 店 商佣兵 新百少 紅春 店部代東祗

87-- 912 (ON ) A

上乘! 林式會社

酒 味 かに

+

例へばある人では脂肪の沈着 際を心き起すとかいい。

栄養素の發見

に特別ある

\*新榮養素、ヨリンとは何か?

心能でおくことはずつ心要でいて、正しい機関と手室の仕組ります。徭つて之等の機群

のに、遺労を遊け、消化の良い食」に注入して膵臓の動きを闢ばらと、は、胃腫筋の衰弱が緩を防ぐた。るので、そのインシュリンを題内とは、胃腫筋の衰弱が緩を防ぐた。るので、そのインシュリンを題内がたしく腹できます。治療法とし、なくなり糖尿病の症状を起して来感し弱く、脂肪が験炎されない爲」にある魅力を虚置することが出来

初老に達して なほ三十代の元氣

等の消化障碍本人に一等の消化障碍

純質のウテナバニシ 下地には必ず無脂肪

ングクリームをつけ

脂肪の分

飲かせぬものであることが戦つた

リンは 野民語であるところのカナダ・ト ではこのコリンは、一覧何に多い 歌にもだってソンコーン注射を行ります。 おことを行へます。このインシューン注射を行ります。 ところが、このインシュリン療法であった。 地にもだってソンコーン注射を行ります。 にいまる喉にいれて関ります。 歴の調節に咳臓を起させらどの新 歴の調節に咳臓を起させらどの新

ヘーフニ斑とは、御仔畑の「蘇州 土はヘーフエ菌を銀げて居ります く含まれてゐるかと云ふに、同博

はに包含してゐますか

成分が綜合的に動

爽快なお肌に整へら 泌を適度に調節して

き家保ちさせます。 つかせ 化粧崩れを防 粉をしつくりと落ち

標にします。米美はなるべく前じる 朋友、肺結核に現されたりする。 別 い 人 当り、原見に對 の かの 類似代別が表 できます風邪をひいたり、 できます風邪をひいたり、 の 類似代別が表 に養生すべきか? 呼吸器の弱い人 動脈硬化、肥満型の人 消化障碍に惱む人 醫 庭

高服用するのに最も適品して

品のことが大切です。 発症が充実すると共に、またには逆し、関呼に関ウを全を「サアトニー、便秘が特別し、たいはは特別服がいかれ、全当組しますが、、問題カター人が別信しないのもそのためで の語力を貼め、長男した閉島機能 タミンB等が含まれてゐて、如の純性酵素やホルモン性物質、

脈硬化の人によって起こが膨に向ってくこのであり、 根郷を動 これを斯律の見まり、 結婚をの他の好性何も取 にれる斯律

ンミ弾力

觸を貴女の

むこれからはお化粧 …とかくお肌の汗ば

殷刺とした若肌を創る・・・・・・

純白無脂肪の整肌料

とした化粧ノリの良い健康な若肌を育くみ 節ですからお肌の手入れが不充分ですと、 新り後の肌アレ止めにも、理想的な性能を ます。又、陽焼けの強防にも、殿方のヒゲ 純く培って皮膚に素晴しい弾力を興へ潑剌 **に調節してニキビ吹出物を強防し、肌理を** お肌にサラツと心快く溶け込み皮脂を適度 グクリームでお肌を充分に整へて下さい。 顔後又はお化粧前には必ずウテナバニシン くお化粧が崩れやすくなります。朝夕の洗 ニキビや吹出物が出來たり汗や脂肪でとか 砂夏は脂肪の分泌が旺盛になつて來る季

ついて化粧崩れせず帯差な淡化粧が出來ます。

へていたいきますと、粉がお肌にしつくりと落ち

行つ突快な整肌タリームです・・・・・・

脂質の

叩き、最後にウテナ化粧水を掌に凝し粉を軽く押 きます。次にその上へも一度、少量の粉をパフで に清掃してからウテナバニシングクリームにウテ ナ粉白粉のお肌に適つた色を混ぜてつけていた。 先づウテナクレンジングクリームでお肌を綺麗 ぬ初夏の淡化粧

鮮魔な近代色 オークル二號 自・風・河瓜 ナチュレル

●ノビ・ツキが自然でムラが出來ず ●微粒子に特別の工夫があるから 吸着性に優れて永保ちします

正 数。五十五餘。三十五餘。三十段 12,6-9,1

東洋人の肌に恐もびったりした

●ニキビ吹出物を解消 ◎初夏の陽焼けを除防し 埋を美しく指ひ 師本科批化ナテウ 店商吉政保久 贴现

の素晴しい弾力を與へ

化粧下に理想的 正價。六十五個三十五個



總督府で立案を急び

£&&£&£&£&£ 

てをや。常胜株の百二三十四日標への乗臨開始、理由が少くない。況んや明年上期は削労五十桁かとしても早晩排込河宣は心主である。いやか。

用田勇商店型標品工品

増配・拂込・増査の大鳴物續出せん

北炭愈々爆騰氣勢

十七なら、白

(百)日(日) 十五と打も、

これから 難事 の方を解取の伏線である。それでは、次に気は四十八で、それ「照五十四となった次第。それでは、次に対している。

それらで自立十三は、郷五十二

仰天ぢや見損じ

果である。

VC

, A

の歌三子が浮いて、此方は自己好から以下先づ自州十七とを協信しという、好断路であり、好形容、これは例上市より有方に任う。そこれは例上市より有方に任う。そこれは樹と云本語計の形であるの歌三子が浮いて、此てい、出ては一世に明して、は、「ここ、二十二十十七年)

四だと、鷺(も)で、其自五十四 れてゐる。それは自五十三を五十

無四十四より白五十五百

胸風に帆。といふ好割が原に基まれらで別五十二と《と》の願へである。

テレて黒五十は、黒(と)で、 櫓は活針よい

の馬地を関ふ、白の攻然的一手で駆は(く)あたり……と點に被を駆くる。それで自四十九は、燃を駆くる。それで自四十九は、

の右にある肌一子も動かさない。

では自に好結果ではない。白四十七ま である。自は間に三子陀かした立

斑ふ攻勢

五十の手段があつて、今中國宝命

地框星星帆不二數極雙的密观器體部組織深址疾的跨貨換模。平平中平日配交交人容量以即原体林林林潤地由土部條係條項對更對面相相四種或中中中長長未来長中長中中未未來內島富富富富和戶間沿台土出層。市場上中土下依田民田谷谷谷谷谷谷谷

、よ見をさ叙真の此 す名署任責に末文の項各は者等執

四六倍判六〇 頁平均豪華壓牢本

19.95

町装川石小京東登 者九三三六三京東越口替最 行 審O一六六(85)川石小話電 所 

下に、十五日夜间案につき討論を は法しの危急打開のため金融金飯 糸をフランス下院に提出したが

**小院で可決さる** 

の金融全權法案

英帝國會議で重要方針確立

地方行政機構の改革

第音及び影響所続の関節のIII取到 しての方針を樹脂した、値して企動として生産力振光、國際改文の | 連絡し具體素を作成することについて、

「短点電話」 BM は十五日の開議 | 立に関する最材の方針を説明し おいて我協定師力協力の根本方一今後企業能が本間別に関しる自

更高願報合意連路して具盤案作成。を受けてあないので有意これが提出的第三を決定し、企供総において | 防重薬出地に関する差が窓の則則 に基す日解例園を通する総合的部、銀雕としては米だ原准よりその園館自及び物質情給の調節の三腕期しいての方針を協能した、値して企

題翻数は十六日午後一時半より一てもそれぐ「其門」言作成提出を 避むこととなつたので、廣田企 | 出方を求めると共に、各省におい

きのふ要項を公表

國際問題に就ては

單獨决定は差控ふ

## **太平洋會議開催を** 英が非公式に提唱か

## 蘇は旣に不可侵案に賛成說 ライオンズ首相の提案全貌

# たと傳へてゐるが、

英帝國育議は右提案を支持することを決議したが 英帝國としては 關係各國に非公式に 會議開催を提 太平洋台商に乗出す段取りと見られる、ロイテ

農村行政の對象は

### 一、特に左記十市を新設する一、特に左記十市を新設する。 海原、登口、破山、四平安東、海原、登口、破山、四平安東、海原、登口、破山、四平

大野政務總監は語る

ずる。 様めて加大な問題でありうと信 延長療大と云本意味においても

及び部海の船服の航行を安全にす。

本統則調査を開始することに なつた

れらわけで歌行局から下條削事務。 換を行った

松岡總裁商相を訪問

方針について説明し十五日の開催を協議したが、そのお問、図版事業の現狀能に今後のの具題化に贈し問じ 治が前、三殿則治がは、風味 現内閣の議論の議論の 結果企園職上

① 為 然 是 三 牧 底 本 革 靴

知らせ下さい。足役の文数をお

り関西川内が村の南楽五ヶ年計画 万時光の其解 つめを行って

がと海の殿材 以表記した

フランス新聞が報道

祭團 作を終り

が一時間に時 の一般ないのでは、 欧洲へ 表 ( )

**明國の担害開席、明國官場に通の職大便、若杉原部平も出席、日米** 瓜を批評し 打けの便能を 上計成と同語 八日ニューコ 所くで便而 1 競で新

とになった

職田制設支持その他参列
◆立石良雄氏(鈴山副教一財を上述
「カ)十六日午时八 行人城、曜都 十七日午期

和江金位

はその明明

1

別んやちに

一般的口

以はれてかる本配主 段にラケワ に背とつた腕 ▲金ピカ器 削とはかり

### 町十時より役員館を開き政務制査 提出さるべき法律家に関し、指一 指導放理能に之に基く各般の政 (留)氏より保険省が関に関し 地域で整計であることに決して述べ整計を扱うの影響で対象が 海が氏より特別が間に政府上 後顧問より外交問題特別委 1川の發展は 京城の發展 蘇が國境線閉鎖か

### 、外地及び満洲 會の歌迎會で有馬農相演說中光典林協議有馬農相演說

レンシャ駐削ローゼンベルが大

関アンカラ監視カラハン大便

五日在文解職人を代表し共産無円 るが、駐支大便ボコモロフ国は十 「関盟網を閉鎖したとの報道さ」【上編十六日赤墨本社時順日記】

うて氷る所極めて深くし

一原則の具體化に

企畫廳が邁進

|帰足の稀結にはプランス||論界は||して来たと云はれてある

本子 観視機楽をは問題は、単年前新官を奏覧したが商ま士三の官職既正によって非常官版一名しなければならの。 単語における主要都市人を所の観 近く公司されを連びとなった、この策の観立舞行にあいるやうに、単語における主要都市人を所の観 近く公司されを連びとなった、この策の観立舞行を表している。 **闽回の報道と云ふことを考べて、近世記を命載した外事乱では木体 から逃撃が、巡れされてゐるので行よ前野を置くし、絶えず日前、半部重立の御趣に伊太海外铁線の一とになり且下宮峡駅正衆は強源域見他よりするも文が異常行決遂一** 中野分子たる農育世界の「四級機廠を緩動は紙幣単位を設っ、搬大せしめることへなった。神教なる関係に養み費が「年度から通牒係を養職してこれが「搬送」名を配送して関議陣を異位 近〜官制公布

國際收支適合につき 重要意見を交換

面の國際教文施合に開する基本方の、本月末路禁制和委立領部の司 を初め野水財頭単種最大異を樹金 向で、既に内定してある賃替様人 で後四時顧用野歌に訳い。鮮刺韓雄 俗についてに用な裾脈を見するが 「「国家忠田」門に離出にて入日中一世談である、師して賞賛了地の量」の 選げたが、その結果現内 藏相が關係者を招致

翰長外相を訪問

様がの飛船を開設といいて、明の私人超過の制制を与べた、明 敗支の適合は大年上半局にお

【黑景地語】風景歌記以表行十六

型につき今後とらべき其権が。 どにつきが顕立とけ同人時二十分 一般して大陸の見造をつけた。 能去した

質疑應答の内容

る教物省は制能主教は十六日の職「管及び補合、肌田各能問題より る教物省は制能主教は十六日の職「管及び補合、肌田各能問題より

二七、九一四、一〇九、府定例本資源で可決されたが、同一一、開始移民計量の現在際に附張

題位向上のためには大いにやる に刑す際には行かんが「関節 トを持つて堂々と川島、早間日 手と彼り合つ

情報的長で自らコート職と前じたはどだった キリ方で任地





火休司、フ



開けて出ると、外に取竄した婆さん。 て慄へてゐた、近所に住んでゐる就直しの我

れた女の聲だ、不安の念に喪しれながら見

お婆さんぢやないか、一壁どうしたといふん

のは閉解の木。靴の修成だった。

症けつける途で、私にはもちよく解つてゐるや

で組まれたのも拒絕した規句だから、まづいてあるんぢやが貸は光刻無疑者長からの取締

もやはり我が方面脳向であらつしやでもいゝぢゃありませんか、第一院だ「然しその邊のことは別に細心配型つて打明けた、これを聞いて私は

別の奴と戦略はつかりしまして……』

事語さんに無かしさらに顕常の継いである自

「知さん、なぜ、あん なこ とをやつ たんだい

くなつた
戦命さんを
連れて
構院を
出た

なかつた、限ろ後患外の上機嫌だつた

たが、狭して否笑では

何故こんなことをしたのか、聞くまでもなく

うな。対がした、「銀銭し」といっても非領さん

音に、深い触りの底がら呼び望まされた。一日が

倒れてゐる、閉廊は血の海だった。

配けつけた、みると我爺さんは朱に集っていっ

夜は明けてゐない、誰が無しく自を叩く

天婦喧嘩で喉を切る

の悲劇

役に立つた旦那の

早く、早くと急かせる整さんと一緒にその家に

が帰てゝ腹傷を代へるのも得てないで

学生が喉をローテんです。

歩き廻っても、 性抗戦の足疲れ儲け、

い道其を曲つた弾に

かけ、確む足を引き摺つ

戽

方面委員の温かい手に抱かれた話 3

施統特院は唯一つ赤十字 別に何に 夜明けを

されたいといる問題を持つて現れた。

とはまれてある間分のため

くなりに適りますと

シングクリームで汚れ空器してか





鼻のまはりや目のふもなど





ふさはしい \* 間に ★

戦

はひたい投入です、自由で維然にげないこの花のよさを十分に た中に確化や投入の生命が有 すれば、この花は十分にそれ

見せました花の位置は京真で問題

本であらう、で剛林士米比の一顆 大天主要等の上で、『東京と『に勝つた方が何れか勝ち舞しとな、恵田を持門と原文を開いた。 比較的東方が匹敵 照如明婚に先立つて國民の印度のた方が何れか勝ち舞しとな、恋さが、出世的も前に永定が原とができる。 たい とい とい とい に 関 の に から に い に は で い に は で い に は で い に は で い に は で い に は で い に は で い に は で に な ら な が 、 出 は で に な に な ら な が 、 出 は で に な に は で に な に な に に な に

が、中つて來てその都度よつくさ云ひなから除 『三三百前旧會へ出張した』私は家人にさらい また日が総つた、もら大丈夫だらら、と思っ その原目も、また気目も彼の如く撮影の小便 ル解面に掃除の小便か、単著T取りに水源 態の月は怨も來た、その十月日にはい 突いて、後手の三寸りことなった動木氏は暫適には

コやあ、きみには見事に一杯般は

されたよあは……」

深く遊師の罪を詫びようと

が院長はいきなり私の鍵を叩いて云つ んなは始めて病院に出向いて、







い要の山





風 夏の海

司道鐵府督總鮮朝

下手なマッサージより安心 皮膚荒れ 7 「刺就するやろでし までも消息味を食 外郷のために日供けを起しますが、太陽の光線にあたつたのでは、紫 正好ならば、その心配もなく個

夏まけ

のやうな順形ですが

孤つて服ります、戸や除す

ずきもんと閉めておくこと

きかなくなった場合、

朝師では権制には早いが

値にしておくと、出た分だ

やうにすることが大切です

·の性女き若 誌 雑 新

ど、「新女苑」の作る それはスポーツの健康美

教養美

近代女性の

新しき美とは?

・ドストエフスキーと女性・近代音樂の祖ドビツシイ・近代音樂の祖ドビツシイ

• 傅記映畫について………

内田岐三雄

け伸びてしまつて指しがり 又引出しを少しでも開けた

除つて、水分が浸込まない

温泉と強笥の狂ひ

冬になってから組んで指し

師に水少々入れペーコンを入れ

プ、王麓、王子一仏、『関格元少もの大彪一杯、トマトケチャッ

じは彼に置く茶出などの天井板 水中に到れて歳月を継たものを伐 脚川したのけ くすんだ色の感

すま來出に單簡

つかり外か の来答など らとつた靴 子供にはら あった時で

脳は■四八銀近の局面

島田田

記 贫 飯塚勘一郎 蒶

老巧同士の 質力匹敵の兩棋士

つて行った。

哲子は特に 中松 原野 淳一

嘘ぢやない世界的發明

發度粉白粉

花柳蒜美。 粉白粉。 これがほんごの

正真の富も百四の資本より 「大阪市東福南久資寺町一丁日 大阪市東福南久資寺町一丁日 大阪市東福南久資寺町一丁日 大阪市東福南久資寺町一丁日 大阪市東福南久資寺町一丁日 大阪市東福南久資寺町一丁日

銀座娘を追跡すれ

青泉ナンバ人美京子の後(歴代)

投資。雁金八郎氏と語る

長門美保と

ま店本一 すがに百 出て関 **來開査** 

山に棒ぐる乙女の純情

際協 尾 大阪市東區濱本町四丁目 崎 商

門

物 造 服揄

店

服

.商店ニ限リ商報送星

卸

羅津埠頭異狀あり

倉庫に下積の大豆三百トン

水氣を含んでみごとに發芽

對心廷皆方向に取るたる原題

| 大学|| 事情の評価に置み越北路| はかることとなつた。 かたく | 過一財に適色ない整備師の機大量化を

私學機關の向上に

準則を新制定

平南の原案成り審議を急ぐ

今月中に正式發令

資材能は勢いの他くところ室に記

一年前舶祭を執行し野宴を確した

人と現實に迫つて來る本価の

期間所で展口同野に続加める取引

以上名・5: の選と「別様に核の問題と演動化 となまにし午後零時中解散した 「関係で残口問者に試験ある取引」となり、参数4の測版があって午 「解係で残口問者に試験ある取引」となり、参数4の測版があって午 「解係で残口問者に試験ある取引」となり、参数4の測版があって午

協秘出架追替機費を實施以來費を一てゐる

「中国」平南道では去る九年から

れてゐるといふ水都に若しからざ

長湯郷陰所では十四日の殿 農民日の田植

一班表後午後四時建師城した を無く、即職、以政局出現所等を、與と清明制以を検認し署級に問示

核佐能率の向上により出荷の迅速地の上級出することとなるので、

を來すと共に取引の安全を期し得

健康體を…より健康に

が単語が流布されて来た製材業者

即を揃へれば波摩が先づ第一に

関に描付けにして大豆の機会な作 称三百トンが水気を含んで観光し窓中食剤の下税になつてゐた大豆 向れる 一萬トン駅上が第一章

かくつてゐることを疑り、原頂の 楽戦級の大いに気状ありゃを来

別の堪合)のものか、それ原因は外部的(希地で放爆

咸田道内に本社を依く質能は百四一風、排込資金三千九十一萬二千九 道内百四十五社の資本金集計 億六千萬圓

躍進咸南の堅實性

関東五千條名に達し経況であった

陽徳の模範林から

黄金時代にふさはしい大形の値上げを呈するものと明辞されてある

**大量の林檎箱板** 

農家副業に總出動の上景氣

山林課の快ヒツト

丹陽支部

元山水道の應急工事 タービン喞筒完成

はない。天日で乾燥してむさか はない。天日で乾燥して動は出帆出 水る管です。あの食脈は七月か出 水る管です。あの食脈は七月か出 いてスファルトにやり腹(なこ

労め船の院市中に群込みを完了しか早かつたため早組天日で院職に 埠頭側の辯 おにつきば

取つて荷物を預つてみる、從謝礙は荷主から一定の保管料

給水能力は倍加

△別総別には株式七四世、合賞「平二百四十五四と総訳されてをりたら世、合名一一世▲樂館別に「平賞及び工業、別等、会話等の記しての歌」のは、「「「一」の「「一」の「「一」の「一」の「一」の「一」の「一 百七十四項の一使九百十一変元

が発されてある。 が公路式本に五千二百三十、原とみられてある。 ではのでは九批を続し、して歌師な、『時間なるのでない實 であるが公路式本に五千二百三十、原とみられてある。

る財際は人思北有際行が臨支部の

娘を喰物に

舞に訴へらる

造し昨年度十萬祖分を政智助産業等製造の博一部林樹和地板をも製

あるが、常来これが大部分に内地 りなされてあるので間が成立から供給されてゐたので世山水脈 超出機で同學が所から生活の都とでは能単純語の並被解析がに四十 がるので應案第二十に続するとこ
五島力の木地見が歴生産を動力と ろうく地元氏に来たに異されてゐして異然を明白して江来、坂百城 る

平壤貯金管理所

舊公會堂跡に來年度店開き

奥地の商圏に福音

共同阪資

忠州の小麥

来っ七月十日から八月末日まで忠「生郎忠向上のため十四日から一盟」語と映路領を開催した。「水間」忠治部の小餐は間に致は「(文山)坡州教養選をは「「紋の術」十二日は1度の名誉は、「水田」忠治等の小餐は目に

坡州の防疫週間

脳動して要刈や田仙に總出動で精」に同都太年度小藝作仕面散は二十

干飾石、沢灰川畑り象が高は日子 |百郎町歩で收職後が路は一萬六||賦定殿布する感向を有してゐる

廿二日御南の各盟校大陸で衛生課 衛生思想同上のため廿一日高山山 「長端」地替然部単生脚では公衆

衛生講話と映像

バラ撤~勞銀二千萬圓突破

【新蔵州】朔州郡九院部に第一84延設を決定した百五十萬キロ生産の巨大なる。は江水力世界記述は新義州を観 早くも供給難憂慮

水産會社

が幼児的な所以です。

金明和方に侵入ワイシャッ等 金百四四を以て雄悲昌雄南河に た野山飛水産前趾はいよく一資本(雄芸)本意楽劇を既へらてゐれ

置山原深安地漫田村村京寺住院包

龜山師講演會 [明弘]

これと解放してあた風か治と物、若ば「本年三菱野町」の如きも風になから経過発動を配揮してこれ。 「本年三菱野町」の如きも風であたと解し、「一大」 聯合青年廟主館で護河館を十六日

\*ヒサア \* スピュ

西 麥 本 日 大 丁二町水質酵水 機 田 証金式株 丁三 町 鉄 雄 區 提 田 社会式株

シネマと演劇

**ある関始することになつた、西側 れることになつたか、これが後輩と来来年終に新聞され、附の祖書章、本部財業手の上京館に借べつけられます。本部財産** 零の夜話「気田性古、炉内美子主演となけらが組帯作トーキュ『丁申』は、「回針切▲大桜ニュース日間重夜、「回針切▲大桜ニュース

まで統々機器し契物をは激年製品とその配数は内鮮は勿診道く自動

で加ふる場別であるが、能楽の校

は設備を缺いだために各象者の

追撃砲やら手榴弾等

新鋭武器を配置

暴虐飽くなき原團に對し

陽の馬鈴薯

頻川弓道會協會

遜色ない警備陣へ

素がら、長器に似因するを増配し、肌中素がは、異常では、関係のでは、関係のでは、関係のでは、関係のでは、関係のでは、対象のでは、ないのでは、対象のでは、ないのでは、ないのでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、は、は、は、ないのでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないの

日、館三百(十六日)館取日、第二日(十五日)原生思想智及第一日(十四日)府建思想智及

れ深く変態されてゐる。

歌」青月日歌と妙路(弘牧)川で、『共に山林前支部蔵行の場番庫で教芸の「韓代の金蘭取、智」によに処理し殿館に徹在さるよと

の上は木秋からの機移山梨は港博 の際に根で規を建設するととなり

これが建築に着手したので、娩工

手山林館支部で征収した架筑落道 出催に配も世便な平臓経体内の昨然にあつたが、本年度から世襲で 西緒に強み変施するのやむなき状

丹曲月豆

片の空念佛

職別における奥林 の申し合せも珈羅術院の前には一 鉄線池大池で有道に接収し数変後の際迦化は木部新 皿へざる限り異体素素明の音楽は 自我を観て午前十一時四十分楽像の歌瀬代は木部新 正成の構成に製し革命館な医学と 決部を作同十五日授機から竹山・「新春州」市林観 切質な經濟戦態よ深刻化 革命的な統制要望

三般に分も朦朧質修果校質性番でも作品有志一団神前器乳後を減をした。一日中間十時待却ず光別に立した。 田植を行び三皮歩を約二時間で加 平壌栗の 檢查塲

に語ると共に高物質の際間で期間われてゐる、なほ本妹は整作の年史

餘裕綽々たる 咸北農家の預金高

「韓国」 歴村 歴生の 窓…… 単内器 は 凡 モー 高田、 府 舎に は 朝公 節 気 不濟高利債の二倍 があてられる智である

いよいよ二位則違反の新記数質地 五百中153(放位于四、括弧内 鎭南浦の貿易

のためには五米食が理が節でありましてガイタミク五複合性が 乗り、そしてガイタミク五複合性が乗り、そしてガイタミク五複合性が乗り、そ 中語水に降れる 部つてもし肌代人を 数十年模組さ

二百六十三茂絵面に造し前記。四九に家族預金約七十萬圃、一の預金總額は百九十三萬三千

住これに對し度村各金融組合 百五十三人といよ好ましい飲

> になるやう、都會でも地方でも保健剤になるやう、健康人がよりは **参酒酵母エピオス錠が、用せられる。** 金木炭県の食物を完全

き起し病氣に負ける原因になつて居る性の胃腸病や脚氣症状、神經炎などをせる れが延いて疲勢を知し、胃腸を弱らせ 忽が減る…消化が鈍る…便通が滞ほる Were を除いて食べるため白米だけではも、玄米からヴィタミンBを含んだ胚し、玄米 には矢張り 米の飯が一ばんだ

日本人の榮養には 麥酒酵母が効果的

責任はさて何處?

るる抗秘・よる八日以来自羽乳和「動を懸飾し郷人地も背局の施設」 目下者やと範伸を辿めてある、随「起せねばならないが、緊部動ではからは外から野にかけて欧州向け」 女質能をあけてあるが形は前では「州地観学は 医野神経のない」が前肢、日下飛行にないでが、の最外が、調の上地野な解り上に寛全を押し、内私立委技は今年内に領域地を継ぶられているが、調の上地野な解り上に寛全を押し、内私立委技は今年内に領域地を組を確認している。 
「他のは終から野にかけて欧州向け」 女質能をあけてみるが形は前では「州地観学に医野神経とのない。」 
「他のは終から野にかけて欧州向け」 
女質能をあけてみるが形は前では「州地観学に医野神経と伝わる。 
「近さねばならないが、緊部動には正式にかってはかったが、 男者が関心に担即侍職した結果者(意味の次を所で質詢するが戦中忠)に打開職でをはじめ那面各職保担一州・大石原、教宗、新尼、沙峡、

態院の人ヶ所で世間するが眺中思

引給き同一整計の下に散災戦別も 定せねばならないが、墨遊戯では

ず多種多類で総関を映く所かおほ 時代的函数に不適であるのみなら されたものである脳似上温をする

いのでこれを技术的に刷新せんが

- 排頭學校を除く)の例則を創定 人らせた、ところでまだ辞別らね。 れて金川県日本面野東茂(三)に嫁

でい 加大事務職となりその結果

人が丈夫になるやう、健康人がより

村の商利位の総領は去る三月末以 (黄七手:||百餘甲・人跳にして一 | 六千六百五十一人であるがこれ | | 打損物局の全面的議員地線職に | 千萬面投き四期六分六届用となり ・ 「一般が過度を選挙の数値的活動と | 月末表記において昨年同期を約二 整原については各版付金融観音 地を置ける関連的は のではるながられ 「朝間浦」二位団突破を目標に翻 「旅港の間方によれば自八十

米に飲けて居る貴重なヴィタミンB複 自然物中で第一位であるからだ。
の含有量が、この変調酵母にはあら

殿村投気恢復と相使つて着々と 近所副北郎孫気の登録指布によ 九萬五千三百圓、人爲にして五

世界的大工事に \勞働者景氣



九十萬圓投げ出す

10 は、味の身代金に爛むといよ師 | 信百氏店に買物に来た穴がさんの間に、味の身代金に爛むといよ師 | 信百氏店に買物に来た穴がさんの

これのと彼なく人様の名を呼ん。 田舎様ぎの妓生を勤めてみたの様の所を突き止めんものと妓 である にはの死を突き止めんものと妹 である

<sub>鏡氣家</sub> 李鍾萬氏の快舉

が、そこへ組ひかけるでうにして

さに家を飛び出して本町へ、本町 ワーには身動きも出来ない櫻の徴覧の夜は本町ギンザへ…… 磐苦し 人々で理められ夕原のラッシュア

香具師も取締る

むりと注意を異へ所可のない街頭

規則計三丁目四七の一覧山家幸館 の既行歌に参加した勤秀大衆から、同歌院の指揮的上野寺中の教殿師の指揮もさることに世歌自僧の力強い自党・闘を明く財政を聞てよる。こ を共有すると記書歌を記録した出版を開てまる。こ を共有すると思書歌を記録してあるととは世歌自僧の力強い自党・闘を観合し気部各地に理想経過酸 には野子 蝦蛄・獣獣蝠の三種のおなことは世歌自僧の力強い自党・闘を観合し気部各地に理想経過酸 には野子 蝦蛄・獣獣蝠の三種の指揮した 古書に見行の選生には、富 した、同応はこれを握本金に嵯峨 はその郷に地と記念に破得に駆ったがした書に見行の選生には、富 した、同応はこれを握本金に嵯峨 はその郷に地と完全に破得に駆ったがした書

には原子、敗場、武蔵場の三機能

なさせるため別はL 別化を行ふ方針である 一揆の接りと文化の職士として盤の木筋型物品では、こ して暗乎は雌を行ひ、龍鹿蛇の明 似のゆくところまで度軟飾度の取水が単端の明朗化を へ、成心を避けずこれ等の時に對 別入者をそれぐ 局に概得して時

電話局の招待 りを見せて「こら」「お話中」の

| 斉極語に對し、限重なる機能を加 | 南方局では廿四、五の兩日全部の

本府迷信打破に拍車

### 見る影もなく害虫にやられ 荒凉たる寒林 現出

をいいない。 があると、 では、大百本からある。このボヤングに観点をムシャノへとほび流らしていいよのは、大百本からある。この近中な機体に花のいったあとへ関血が誕生して、 大月戦が起つて那須音楽の機能体には単や状を通り越して木岳の吹く多が訪れてある。 では、大百本からある。この近中な機体に花のいったあとへ関血が誕生してる。 では、大百本からある。この近中な機体に花のいったあと、関血が凝生してある。 では、大百本からある。この近中な機体に花のいったあと、関血が凝め、 をいった。 2階級で殿づた頃のあの美しい動師の要は見るかけまなく、末樹にいためつけられた

城の躍進

貧少年に情けの手

|「家七名は歴史の一歩手前まで来|ある事件の職人として同場が出版

留置一歩前に警察へお願ひ

強に吹かれて脚上から脚上へ

三名、朝鮮人州四名、合計五十七日英奇の紛岌是生き扱は丙地人計

○介観経で職職し張されの疑義を列して必要が関係して公政が費申されまでの「作ることとないう」を提出して公政が費申されまでの「作ることとないう」とは関いている。

日本学出、権民国南級事の高所か、事件に関し総官の参考となし返世 日本学出、権民国南級事の高所か、事件に関し総官の参考となし返世 日本学出、権民国南級事の高所か、事件に関し総官の参考となし返世 日本学出、権民国南級事の高所か、事件に関し総官の参考となし返世

帝人事件の論

らいよので形に関ばれたものであ、気用させようとした動気が面白く

普及全燒

息・神經痛や

で消

風·高血壓

『うすはつばめ」の幼虫 

林樹櫻宮稲景たつなにかだは丸

村航台戦と協力、中枢労働者の発して制定されら統正確の下に大同来にので京城主大建築副館では本して団かに観遊報國に測進し次で

や無路となった、そこで未決物情。常にしてゐたお僕を真い損ねたソ

として第一些、

ころ去る三月廿九日第三級で席し

◆……一方、単の疑びは隠れたが | 形事権は請求の理由なし。」とあつ

さり蹴られてしまった、彼氏も上

ふのはからである

教育製造自聞を出せば、返して | ブラ頭のため跳しいアロムナード

が樂じめらやらにと夏の夜の本町

記念品倒星

三時から旭川堤防で水防洞側を原埋飛山外位断では十十十十名

遊供祭·島 Y

井醫院 

特 8% 辛 贞 

## れて無罪とよったものである の良俗を発するのであるといふ 独を一部取出したのみ投資を登録したが思いなかった」と認めら、は書の上では想罪ではないが心論。 統かに認べ、死の贈り耳と高く時くとしたが思いなかった」と認めら、は書の上では想罪ではないが心論。 統立に認べ、死の贈り耳と高く時くとして、すして、すして、 もりではあららが、単弦を乗りる。如を受けた後心しよけまいことが「数回以上と続しむ間以上制作中◆・・・・しかしまは何れば更すらつ「おむり、十六日曜(報道水県下の道・同一時生ごろ)観光した、挑撲は、

今津博士は から見かな

学血剤 かけばし、その原用

用 明明版、ヒーノ・等で苦しむ人間・中学教師が ポーリウマチで手足観響はなっている。 はあれこれを感はず取くは用ある大阪市東急線三段線順電ルー四五

(土厚健今の中党研)

今津博士の素晴しい研究

新来間に入りの地名が開神する歌 工木建築協會の計畫 は、成を行ふことになった。は、成を行ふことになった。

な相関があり、限とに関する、関しては前名、関しては前名、映しては前名、映しては前名、映しては前名、映して

隣接面で倒れ左半身子障。青もつと來るので不安の日を込る内域橋

感謝の聲(火き)

れ難論せしが、今世を作のおれて

かくなり神経が

施品

半在

成庫

品品 多

數

**委性癖、用札嬢等のスマートな酬した総道局では引ついき金線電話** ら男子局域の翻載制度に次で過程。里底に発立った男を東大門舎長が網に放正と己和制度のモットーか「押行金」個を東立らに抱って清晰 本局及で銀道事情例の女子健事賞「怪んで調べると、夏境宏岩断一

日試運轉

郁

解 **朝鮮火藥銃**他株式機械部 京城州南大門通五丁星三人 株式 **本 多 機 械 製 作 所** 吳繼龍尼姆由海拔地一大人一只將推轉的跨級北口下地東三丁) 電體大展報第638章、尼爾860章

左 御 覽

新恕坡對岸に

眞空ポンフ

機械材質工作に絕對的確信あり

名の帰城は新進地は発力地の登記

城间点

女

通子御用の方は 通子御用の方は 一直が不同三七〇六谷へ

朝鮮競馬俱樂部 大東大門外競馬場 大東大門外競馬場 二十九日(主) 同二十九日(主) 同二十九日(主) 同二十日(日)

□ 東 明花と旅館には日本 あり 明月中北西海岸通り海水路 あり 明月中北西海岸通り海水路

金を工画して原順したが容れられ

**沿**清罐

津村沿

百四条内

ブラ整理 無許可の露店や

(中国日本)

女中、外型に内地人家庭

終ると、ナプキンで目のあたり 泛術は一皿のハムエッグスを定

し拭ひながら、

宋きあげた東華モスリンの一種の 『歌とは違ふの元、親爺の代から 膨続があるのだ、何しろ、 観縮さんといふ人は、 第 七日(木)

君も | 同六時三〇分(平)英語腓隆 | 午前六時(東)體操 放送

| 「手程左生花質用の投入花(二) | 同1の時三の分(東)婦人課座の | 同1の時三の分(東)婦人課座の | 同九時五五分(東)婦上メモの | 同九時五五分(東)婦上メモ 工一 高价像一度(1) 朝の修確 日間七時一分(東)朝の修確 日間七時 天氣見込 回

近世の商工業 近世の商工業 日四時 ニユース(家象道報・签 医科斯人名姓氏斯勒人名姓氏斯勒人名英国斯森人名英国加鲁克 (主) 一定 连、红柴、美妙、国路、中村定 解說 和时录 国路、村定

ト 一、碧空 一・ 月の光こま 大阪市中大江東小學校見童 大阪市中大江東小學校見童 (大) 小母生の時間 7章 同六時三〇分 (相) お語 水の中 近脚少彦をのみこと 版市中大江東小母校児童 かはぞうして語や信観を停へる では 14 月 一次時三〇分 (相) お語 水の中 四次 14 月 一次時三〇分 (年) カレントトビ 17 ドンスと 1 フックス

(朝鮮酒・釜山)夏のお化郷 同一時一五分(城)婦人の時間

でよごしながら、平けてゆく。 一身になつた。列車は趙々葉景へ近うまさうに、歐衛は塔を腕の黄脉・やうな鯛をして、心地よけに、反ムエクグスのホークを取り上げて 「厳術は、発了自信で国つてゐる

報

に浮きたつメロデイー、サア歌 こかひ人生、高鳴るりズム、調 こがひ人生、高鳴るり、噴れやか子合せて常校に知る、噴れやか コーク、災まる若人、ほ

ンガルオ調正純

ニューヨーク、集まる若人、ほニーク、黄金渦巻く、たのし都ロマンスムード、優かしニューロマンスムード、優かしニュー 数い出し愛の二重唱を高らかに唱 のために対象な酒場で嗅はされて の姉のジュリアナが强急な支配人 へたといる楽しかりし底行の思い のる優れた素質を見出してそれを 唱合と唱獨 綺麗な花いかと香り高い美し

御子 ヴオル (河上湖ネル (河上湖ネルー、 河里)

ことだき、やはらかき推移の色では、確さたる様を見ってあらんや、 佐女が龍される様を見ってあらんや、 個ので要れるだ、いやな浄世は、 の 個のの要の服物もも数のペートにけた、 変びを苦しみも私のペートにけた、変びを苦しみも私のペートに

・ルマンが可愛いい花ত娘ルイズ 主なる歌 夏の夜、賑かに 寶塚總 ラチ

城

の放送のセレモニーを眺めるゴ レヴイエー・マン ん、たのし君の変の唄
て、深高くうるはし、いざ紙は

花、花はいから 響け 使います

彼を起すには水晶やニッケル板を 数年民は軍北南大工學部の務

御機嫌、

晴れ。けさの

きいたのさ

跳ぶらのが必要です。それには放大に水の中へ話を除へるには話が

水の中で助き廻る潜航艇などへは す。その際はる選択も登場中上は晋に遠くまで掘らずに際にり 水は音をよく膨へます。水の中で どうやつて語や信號を明へるこ も早いのです。それ放石し水の し、交配波が通りません、しか 中では光があまりよく通りませ ついろの部首器や受信器があつ よく出來ればかなり遠くまで信 中の音を受けるマイクロフオン へ强い音を出すことが出来、父 し遠くても光や無線電信や無線 が出來ませらか、発表中なれば少 (話)……(話) 水の中へは 信號を傳へるか どうして話しや 松平正 難病征服。雲 **尚賣繁日日を**郷方 西屋本献品の打明付語)な大総学御堂でさい。 の意識浸透原大明日、豊豊家四家女子さん、代源士ス(交戴浸透原大明日、豊豊家四家女子さん、代源士ス(発行・イング)と指統の大精明、人変花及総数ロマン

示さず、すぐこれには何の返事も

な事があつても動じなかつた。わ それで値が握つてゐたから、どん

に理解を聞き聞つて、又一腿の質 と恋れたり優でたりしてたんちゃかく 一般都ではこざいません、妙 のカリモッカしてた ガーカーカー

果ぜられるだけだらら

『ですが、近頃の雰囲運動は、ま ことに、質が思いのでして・・・・な

> 强すた気で、そこを押切つて行く さらいる機能にこそ料理か、一級(くのも此方の数量の一つだから…

**・ 趣です。 秀祖と極感の意所がわかり大雄り徒なし。 窓地十三氏が政戯に公開された極緻質語を引速しては** 窓地・三氏が政戯に公開された極級質語を引きしては

肺臓脾臓抽出ホルモン 血液凝固催逸性止血劑

高杉商店回漕部

抵票庸书

大翻艺、大麻

一般外傷 紫斑病等

20 蘇河友古商店

四個個個

各大學病院各科賞用

節。

かいふスローガンを揚げてゐるの 町なく。気ばかり思るやうだつた。 だが、ともかく、生活の難識と

ので、まあいはい反抗の質の反 出長が、風を撃や、形を聞い

社長か少し、撃天的なのが心

開着は英雄領取りで向つて来

のが男もやないかな、此方が、た

暴風雨の前へ

81

お、仮はもう潜んだの?

つそうか、そんなら紅茶でも飲み | の手なじ鎖めてやる目信がある。

でれに就いては、明日にもわしが とはしない、わしにもその位の火

折からボーイの運んで来たハー工場へ出掛けてゆくこ

上国長は失験上ののやうな出版

で莫わた人間を無理に追立てよう

は受け細いであるつもりだ、だか しはその父親の職力には及ばすと

配泊して、これまで働い

父親の持つて扱った物神だけ

あて、路で崩動袋しますし、運動「艶湿動のブローカーのやらな奴か」

競技上達意志 家の公門)を即戦即一員、贮税の意びを耕び給へ。 スキング より駆の大管師、駆が在服機総裁(三名版語の大管師、駆が在服機総裁(三名版語を買債第5部陸左符集を逃して恐る、に座りませ

號,七大新計畫發表, 號、七大新計畫發表、小說讀キング七月號は大增頁の特大 含所を影談した『キング』七月號の大塚版を云早く。 松第一滝の男な家里十三氏が、名間具と共に根庭の上道 松第一滝の男な家里十三氏が、名間具と共に根庭の上道



非安府自加资助 砂川市研

位理念 西

東内所 中央三中州・安東大和諸 ジャバング・リストビニーリー ジャバング・リストビニーリー ・ 金山 釜山商船和

時間断、忠海各港に時間断、忠海各港に時間断、忠海各部ノ仁 华斯八時度日 电超 多 店 仁川田代代理店日華海道株式會社 大連直行(三等七回)

图 鳴谷浜船頭出机

新岛州五日本夏浦人世门十日

大阪商船株式會社 京 城 支 店 京 城 支 店 市岛代理店 姿质 医

さつばりする お肌のシンまで こまかい泡立ち

0.00 明豫定

想的委洗ひ粉・資生 堂 シャ

- 世界 十八月

、そのあで姿態を追ひてン)たのしく君とうマン)たのしく君とうトミユージック

天たる父の豪光を内に包みて、上に、苦傷の床の上に、脛り鈴望ヨセッが強腐へし、板敷の中

| レコード音樂(京城) 地方へのニュース

本分 時間 宏 田 所 日本の 一年 1 日本の 一年 1 日本の 一年 1 日本の 1 日

同一〇時 地方へのこ 同九時 夢念浦打令

世 年後要時五分 供画 正差計分 徳 同 暦三〇分(域)婦人派出・外 徳 同 暦三〇分(域)婦人派出・外 場 同 西野三〇分(域)婦人派出・ 野 同六辞 趣味道(変)北京原 上版いて 上田 作っ 一に成いて 上田 にっ 大河原理 部域 (変) 地ス原及 大河原理 部域 (変) 地ス原及 十八日(金)

大月の風のやうな暖かな味。然も楽し出す健康の湿しさ

★ 特に 関脳を移へ悪病を ・ 、後白質、前部研究、跳 ・ 大田でな親でのものを含さ ・ 大田では、前部所で、 ・ 大田では、前部所で、 ・ 大田では、 ・ 大田では、

病を助ぐ 高くである 、健康建設 ムいピタミ ムいピタミ

時間(第二放送)・現立と先生の 同六時三〇分 三〇分(大) 旅游剧 生物神社医节 松尾 正核

宇神秀男

花七、運の動向 黒川新次郎五、悲 同七時三〇分(東)講演 世界海

(東)獨唱及合唱と純正調別问 黒川新次郎

同一〇時(城)地方へ同九時三〇分(東)は

同一時 | 五分 婦人の時間

同七陸三〇分(東)琵琶 川中京城渓仙野巡撃

2000年 2000

大角世三日 物節運送支店

九州郵船出張民

/月二十三日

長山丸 を発す一日・中部の時代を表現しています。 「日本のでは、一日・中部の時代では、11年では、11年で中部の時代では、11年で中部の時代では、11年で中部の時代では、11年で中部の時代では、11年には、11年では、11年には、

の 世 見 い 五 一 大 雅 二 九 都 解 解 ( ) 中 日 和 神 の 計 ( ) 日 和 神 の 下 日 和 神 の 下 日 神 神 に 一 に は な 町 門 上 日 神 神 下 し 声 地 

日前観明記録に